

福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（2月分）

派遣先：Vilnius university

氏名：児玉七海



こんにちは！福井大学国際地域学部3年の児玉七海です。私は2月1日から6月30日までの一学期間、リトアニアのヴィリニウス大学で交換留学をします。コロナ渦での留学、初めてのヨーロッパ留学ということで慣れない環境の中、不安ももちろんありましたが、今では少しずつ生活に慣れ、世界遺産の旧市街があるヴィリニウスで楽しく留学生活を送っています。今回はリトアニアに到着してから現在に至るまでの1か月間に、私がリトアニア・ヴィリニウスでの暮らしの中で気づいたことや知っておくと役に立つことについて記していきます。ヴィリニウス大学に興味を持つ一人でも多くの方々の参考になれば幸いです。

---リトアニア独立記念祭（2月16日）の写真

■ヴィリニウス大学

私の通うヴィリニウス大学は、1579年に創設されたリトアニア最古の大学です。ヨーロッパだけではなく、アフリカやアジア、アメリカなど世界各国からきている留学生とInternationalな環境下で学習することができます。ヴィリニウス大学のキャンパスは計6つありますが、その中でも大きなキャンパスは2つで、1つがOld Town（シティ）にある言語学や哲学部、歴史学部のキャンパス。もう一つはサウレテキオの寮の近くにある、コミュニケーション学部、経済学部、法学部などのキャンパスです。シティのキャンパスは建築が豪華で歴史的であるのに対し、サウレテキオのキャンパスは現代風のつくりになっています。キャンパスに関連して一つ注意すべきことといえば、大学の寮はオランダとサウレテキオという二つに分かれています。もしサウレテキオの寮に住むことになった場合、シティのキャンパスまで徒歩を含めバスで40～50分ほどかかるため、履修する授業や学部によって寮を慎重に選んだほうがよいと思います。ちなみにオランダの寮はバスでシティまで20分ほどとなっています。



■オリエンテーションウィーク

2月1日～3日は留学生対象のオリエンテーションがあり、学部によってオンラインか対面かが異なっていました。そしてこの週には毎日 ESN バディによる交流イベントが開催され、さまざまな国出身の留学生と友達になることができます。楽しすぎてつい無理をしてしまいがちな留学ですので、体調に気を遣いながらどのイベントに参加するかを決めるといいと思います。

履修登録はヴィリニウス大学の information system (オンライン) 上で2月4日から始まり、18日まで変更が可能でした。Study Plan で事前に登録した授業の曜日や時間帯はこの時になって初めてわかるため、なるべく Study Plan で興味のある授業をできるだけたくさん登録しておくのがいいと思います。なぜなら人気な授業は履修登録期間には定員がすでに埋まってしまっていたり、授業の時間帯が被っていたり、学期が始まってから開講されないことが決まってしまう授業があったり、、、そのために希望する授業が取れないのはとても残念だからです。逆に履修を取り消すことは簡単なので、授業を多めに Study Plan で選択しておいたほうが絶対にいいです。

■リトアニアでの生活

・節約術

リトアニアは本当に生活しやすい国だと最近感じています。まだほかのヨーロッパの国



に訪れたことがないため比較はできませんが、治安や物価、交通の便などを含め非常に住みやすいです。物価はものによりますが、全体的に見てパンや野菜、乳製品が日本より断然安いです。スーパーによっては、そのスーパーのカードを持っていると最大半額程度の割引が得られるので、節約して生活したい人は作ることをおすすめします。実際に私も、寮の近くにあるスーパーikiのカードやMaximaのカード、またよく利用するドラッグストアDrogasのカードを作りました(写真)。スーパーのインフォメーションカウンターで、1ユーロほどで作ることができ、すぐにそのもとと取ることができるので便利です。

・学割

私の住むヴィリニウスは学生のお財布に優しい都市だと思います。学生証をもっていれば、公共施設やカフェ、交通機関で半額以上の割引を受けることができます。とくにバスは「Trafi」というアプリで学生なら80%の割引が適応され、一か月5.8ユーロで乗り放題

です。しかし、学生証を持っていなかったり、1か月の有効期限の更新を忘れてしまった場合、抜き打ちで行われるチケットチェックで罰金を科せられてしまうので注意してください！

・カフェ文化

リトアニアにきて一番驚いたことは、カフェ文化が非常に浸透しているということです。授業の終わりに友達とおしゃべりするために、いつでもカフェに行きます。値段が非常にリーズナブルな上に、日本では見かけないドリンクもあるのでメニューを見ているだけでもとても面白いです。スターバックスが一つもないリトアニアですが、このように地元のカフェが至る所に存在しているので、まだ行ったことのないカフェをヴィリニウスで探し、開拓してみたいと今は思っています。

■緊迫するウクライナ情勢

2022年2月24日、ロシア軍がウクライナ東部で攻撃を開始し、ウクライナ侵攻が行われました。私は現在リトアニアという旧ソ連国であり、戦場に非常に近い地域で留学をしているため不安を抱きつつ生活をしています。この侵攻が開始された24日（木）の夜にはリトアニアのヴィリニウスで、ウクライナ侵攻に抗議し、ウクライナを支援するための団結イベントが開催されました。このイベントのアナウンスが前日に行われたにも関わらず、会場には何千人もの民衆が、自国やウクライナの国旗を掲げてロシア大使館の前に集結しました。私は、このようなプロテスタントに参加したのは今回が初めてだったのですが、リトアニアというまだ新しく小さな国に生きる人々が持つ、戦争や侵略に対する激しい怒り、平和への祈り、そしてウクライナと



という他国で今を必死に生きている人々と「一緒に戦っていこう」という強い思いを感じました。彼らの姿は非常にかっこよく、そして美しく、人を想う気持ちがここまで多くの民衆を動かすのだと感動を覚えました。まだまだリトアニアも油断できない状況下で不安が続きますが、一日でも早く平和な日々が、人々が笑顔で生活できる日々が来ることを切に願っています。